

令和7年度 心の駅北九州 地域連携推進会議

日時	令和7年12月10日(水) 16:00～
参加者	① ご利用者代表・・・T.S ② ご利用ご家族代表・・・A.K ③ 地域の関係者・・・D.O ④ 福祉に知見のある人・・・J.T ⑤ 経営に知見のある人・・・G.T (敬称略) ⑥ 施設等所在地の市町村担当者・・・ご欠席 ⑦ 心の駅北九州職員・・・管理者 米丸 政史 サービス管理責任者 欠席 議事録担当 岩坪 麻衣子
式次第	
・施設等・地域の連携 ・利用者の権利擁護	① 障害についてのレクチャー ※心の駅北九州ご利用者様 統計表より ・平均在籍者(主病名) 主に精神障害のある利用者様が多く、中でも統合失調症の方が最も多い。 ・平均年齢 全体では52.4歳。 第2・3・5ホームに関しては両極端になっている状況で、70代の利用者様もいれば20代の利用者様も在籍しており、アパートタイプの事業所ではそのような傾向にある。 ・平均区分 1～6段階の障害の支援区分というものがあり、幸神の平均は3.37、直近では3.4を超えている。 全体では平均が3.1である。 ・平均利用率 全体で9割以上の利用率になっている。 今年は特に暑かったこともあり夏に入院される方が非常に多く、上期の利用率が下がっている。 今年度10月、11月では97～98%、年間を通じるとおおよそ95～96%となる。 ただ、心の駅北九州としては利用の長期化を出来るだけ抑え、本人の希望に沿って地域へ送り出していこうと取り組んでおり毎月入退去の調整を行っている。 ・累計入居者数、退去者数 入居された利用者様は自宅、アパートまたは病院からGHへ来られている。 反対に退去ではGHから自宅、アパートへ戻られた方、奇しくも病院へ入院

になった方、またその他というのがご高齢になられて介護施設へ行かれた方を含んでいる。

・平均 利用期間別利用人数

利用の長期化を防いでいこうと取り組んでおり、3年以上の方がまだ6割弱となっているが、3年未満の方が約半数を占めており3年未満で入れ替わりをしている状況である。

・累計事故報告

どうしても事故が数件起きており、どういう風に防いでいくかということの検討と対策の実施を必ず行っている。

誤薬に関しては、別の方の薬を渡したということではなく、職員のミスではあるが夕方に朝の薬を渡してしまう事故が発生した。

その場で受診先の薬局へ確認をし、すぐに対応、また今後どのように再発防止に努めるのかということを確認している。

複数回のリストカット、自傷行為に関しては同じ利用者様で作業所でのストレスが原因になっている。

また同じホームで4月に立て続けにボヤ（小火）が起きており、防犯カメラの設置等によって再発は起きておらず、怪我人もいない。

物損事故に関しては、必ず職員が自動車の扉を開閉することに努めているものの運転席が半開きになっていたことが事故につながった。怪我人は出ていないが起きてはいけないことが起きているため、しっかり施錠確認を行い再発防止に努めている。

・苦情報告

大きな苦情は上がっていない。

その他、内部では、職員とうまくいかない・職員の口調が少し強かった気がする等の話は上がっている。

また外部においては、3階・4階の利用者様が夕日を眺めていたところ、丁度下校していた小学生が防犯意識から「ジロジロと見てくる怪しい人がいる」と通報し、警察から連絡があった。

・平均従事者

常勤換算数において規定の人数を配置している。

サービス管理責任者は3.6以上であるが、利用者様10名に対して1名のサービス管理責任者を配置し、しっかりと利用者様の話を聞いて計画を立てていきたいという思いがあり、10名程度のサービス管理責任者を全体に配置し、各事業所にいる状況をつくっている。

・平均保有資格別従業員数

心の駅北九州においては専門職の資格保有者が7割程度を占めている。

② 近隣からの苦情等の共有

①であげたように、大きな苦情というものはないが、3階・4階の利用者様が夕日を眺めていたところ、丁度下校していた小学生が防犯意識から通報し、警察から連絡があった。

	③ 地域行事について 住宅街となるため、お祭りなど大規模な行事はないものの、黒ヶ畑市民センターの行事、例えばウォーキング大会などへキートス幸神施設長が参加をし、利用者様へ声掛けをしている。
施設等やサービスの透明性・質の確保	① 利用者の日常生活の様子について 管理者：T.S さんはどのように日常生活を過ごされていますか。 T.S さん：朝 5 時に起きてシャワー浴びて、それから洗濯場が開くのを待って、6 時に洗濯場が開くので洗濯物を回して、それから朝食を食べにいきます。洗濯物は早回しで回すので 丁度 10 分ぐらいで終わって、朝食を食べ終わってからそれを部屋に干して、着替えて、事業所行くまでの間テレビを見ているような感じです。 管理者：D.O さんはこちらの利用者さんとよく朝や夕方に挨拶をしています。地域の方からみて施設に対してどのような印象がありますか。 D.O さん：みんな明るく過ごしている印象があります。 管理者：J.T さんから見ていかがですか。 J.T さん：私が後見にご参入させていただいている方も、こちらのお世話になっていて、すごく落ち着いて生活されている様子を見て感謝しているところでございます。 管理者：発達障害を持たれた小学生から高校生までを見ている放課後デイサービスの事業者さんから、職場体験をさせたいというお話をいただきました。 幸神ホームでは同じ建物内に 2 つの事業が入っているので、時々「何でお前がこっちにおるんか」とか、「ここはこっちの事業の食堂だろうか」とかですね。心ない発言というのが、時々、過去にありました。そういったところへ自発的に働きかけて、少しずつ改善して皆さんと共有できるような環境を作りたいなという思いから、茶話会を始めて、トランプやボードゲームをして色々なコミュニケーションを取っています。 職場体験という形ではないですが、そこへ放課後デイの高校生に来ていただいて、地域のみならず、そういった方とも関わりを持っていこうというふうに計画をしております。 ② 経営状況の報告 管理者：24 年度の法改正でグループホームは非常に厳しくなりました。先日も福祉新聞にあがっていたのですが、グループホームや B 型、生活介護などが特に非常に厳しい状況にあり、次の 27 年 4 月の改正前に法改正をしなければいけないのではないかというような記事が書いてあるほどです。ただその中でも、なんとか皆さまとのご縁があり経営出来ております。

	③ BCP（業務継続計画）の策定状況について 管理者：自然災害や感染などの災害があった時に事業をいかに継続していくか、そのための計画を作って、職員は年に1回以上の訓練と年に1回以上の研修を実施しています。これは避難訓練ということではなくて、避難訓練というのはその事象が起きた時にいかに逃げるかいかに避けるかなんですが、このBCPというのはそういった状況が起きた時にいかに利用者の皆さんが困らずに日常生活を送れるのかということが大切になります。例えば、地震が起きました、水が止まりました、そういう不慮の事態が起きた時に最低3日分の備蓄の水があるのか保管場所も含めた確認や、電話やインターネットが使えなくなったときにどこから情報を得るのかなどの確認をしています。そういうときは、ラジオを使います。ラジオがどこにあるのか皆さんパツと出てこないのですが、車にあります。車のラジオをどう使うのかということも普段運転されない職員さんはわからない場合もあります。そういったことの訓練を行い、研修では国が出している動画の視聴や、意見交換をしています。 これは義務化されていて、法人内の全事業所で行っております。
その他	① 皆様より T.Sさん：多分、精神と知的の障害のある人を見たらわかると思うんですけど、精神の方ってあまり理解されないんですよね。電車とかバス乗っても普通の人に見られて、手とか足とか震えているのもやめてくれなかねって1回言われたことがあるんですけど、あまり精神の障害って表からはわからないし、心の中の病気という感じなので理解されないことの方が多いですね。この中では利用者の中には作業所も同じ人たちがいるし、スタッフも障害について分かってくれているのでやりやすいです。ただ、いざ一般就職となると周りから理解されないこともあって、長続きしない。今は年金もらいながら、B型作業所に通っています。 A.Kさん：わたしの息子はもう利用して7年経ちます。今のお話を聞くと早く出ていった方がいいのかなと思ってしまいました。 管理者：それは語弊がありました。個別支援計画というのがあって、まずは、必ず本人が単身生活の希望があるのかという点を確認しています。そして作成した計画書は相談支援専門員さんに必ず交付しなければいけないなど、色々な決まりがあります。中には出たいという希望はあるけど今は出られる状況じゃない方もいて、その方たちをいかにして良いかたちで地域へ送り出していけるのかという課題もありますし、今ここでしっかりやっていきたいという方を無理に送り出すということはしていません。 A.Kさん：建物は結構出入り自由じゃないですか。セキュリティ的な面は大事なのでしょうか。 管理者：セキュリティ面では、今は玄関口と各廊下に2台ずつ防犯カメラが

あります。また 365 日宿直者がいるので、職員が 24 時間体制で勤務しています。

非常階段を勝手に開ける方とかもいらっしゃったので、今各階の非常階段もサムターン式で中からは出られますが、1 回閉めると外からは入れません。そうすると今度は開けっぱなしにしているような人もいて、逆に危ない状況も起きていたので、今はキャップをつけて基本的には開かないようにして、非常時にはキャップを叩き落として出られるようにしています。

このように以前に比べると、外部から来られないような状況を作っています。

G.T さん：(統計資料から) 利用者さんの平均年齢が少し高いというところがあって、利用者さんの高齢化を今後支援員として、法人として、どのような工夫をして、どういう風にしていきたいという思いがあるのでしょうか。あとは私も施設の運営や管理者をしているので、平均利用率がすごく高いというのは、すごく職員さんたちが頑張っていることが数字で目に見えるかたちとして現れているなという感想です。

管理者：確かに高齢化してきているという課題はあります。中には 80 歳ぐらいの方もいらっしゃって、ただ介護保険には非該当で、障害があるのでグループホームを利用できるという方もいらっしゃれば、70 歳ぐらいで ADL がぐんと落ちてしまうような方もいます。法人内では行橋の方で高齢者事業を行っているのですが、そちらへ移った方もおられます。ただ住み慣れた地域で最後を迎えたいというような方のニーズには、エリアが変わるためそれでは答えられません。法人内で今後どうしていくのかという協議、検討はずっと行っている状況です。

また北九州では、人口はどんどん減っていくのと反対に 65 歳以上の方は増え、その中で介護保険非該当の方も増えていくだろうということが人口動態資料から読み取られます。私たちが今できることというのは、やはり 70 代になっても元気で介護保険が非該当の方がいらっしゃれば、その方々が受け入れられるような体制づくり、そのために看護師さんの雇用や介護福祉士さんに協力してもらうというようなことに力を入れています。

また高齢化という課題への施設設備の取り組みとしては、香月ホームがバリアフリーを取り入れています。2 階はどうしても階段があって難しいですが、施設に入るまでと 1 階の部分はバリアフリーです。お風呂は共用で幸神ホームのように個室ではないですが、ユニットバスが男性用と女性用に設置されていますので、入浴介助もしやすい状況になっていて身体障害の方でもお受けしたりしております。

(以上 質疑応答終了)

会議は終始なごやかな雰囲気で行われました。

心の駅北九州

統計資料

* 令和7年4月～10月末のデータをもとに集計

I 利用者

1 平均在籍者数（主病名）

病名	人数（人）
器質性精神障害	0
精神作用物質による、 精神、行動障害	7
統合失調症	47
気分障害	2
神経症性障害	17
知的障害	17
その他の精神および行 動障害	12
その他	14

2 平均年齢（歳）

幸神	第1	第2	第3、5	香月	森下	全体
52.5	52.2	54.6	49.7	50.1	55.2	52.4

3 平均区分

幸神	第1	第2	第3、5	香月	森下	全体
3.37	2.95	2.88	3.1	3.27	2.81	3.1

4 平均利用率（％）

幸神	第1	第2	第3、5	香月	森下	全体
93.3	91.3	97.3	95.9	91.6	83.3	92.1

5 累計入居者数

入居前の状況	人数（人）
自宅、アパートなど	4
GH	0
福祉ホーム	0
入所施設	0
病院	4
特別支援学校の寄宿舍	0
その他	4

6 累計退去者数

退去後の状況	人数（人）
自宅、アパートなど	4
GH	1
福祉ホーム	0
病院	1
死亡	0
その他	3

7 平均 利用期間別利用人数

利用期間	人数（人）
1年以下	26.1
1～3年以下	28.5
3年以上	56.8

8 平均 重度加算等対象者別人数

加算種別	人数（人）
重度障害者支援加算Ⅱ	3.4
地域移行個別支援特別加算	5.4
精神障害者地域移行特別加算	2.4
強度行動障害者地域移行特別加算	0

9 累計事故報告（行政報告）

事故の種別	事故の結果や傷病等の内容	再発防止策
誤薬	職員による、薬の渡し間違い。 受診先に確認を行い、服薬の指示頂き対応。	済・未
リストカット	作業所でのストエスに寄り夜間に自室でリストカット。病院受診で縫合処置。	済・未
リストカット	手首裂傷で病院受診し縫合処置	済・未
火災（放火疑い）	備品損傷・警備会社、消防、警察対応	済・未
火災（放火疑い）	備品損傷・警備会社、消防、警察対応	済・未
リストカット	手首裂傷で病院受診し縫合処置	済・未
物損事故	運転席側ドアを半開きにした状態で利用者乗車対応を実施。運転席側閉められていなかったこともあり風にあおられ、相手車両後部座席ドアに接触。 相手の車見積もりをだしていただき、支払いを実施。	済・未

10 苦情報告

相談内容	処理経過	結果
なし		

II 従業者

1 平均従事者（常勤換算数）

従事者	人数（人）
サービス管理責任者	3.6以上
世話人	27.6
生活支援員	14.3
看護職員	7.2
その他の職員	1.1

2 平均保有資格別従業員数

保有資格	人数（人）
社会福祉士	18.1
介護福祉士	12.8
精神保健福祉士	19.4
看護職員	13.5
その他の資格	16.8

*複数の資格保有者もそれぞれに計上

付記

- ・疾患別の疾患名はICD10を簡略化して使用した。